

中部技術事務所の照明車が規制期間短縮に貢献！！

【国道41号名濃バイパス6車線化拡幅事業（愛知国道事務所）】



中部地震津波対策
技術センター

中部技術事務所

平成29年12月28日22時～平成30年1月5日6時で予定された国道41号名濃バイパス(6車線化)年末年始集中工事でしたが、中部技術事務所の照明車を活用することにより昼夜連続施工を行い、予定より**1日短縮**の1月4日6時に無事終了できました。



今回活用された照明車は・・・

【照明車(20m級)】

夜間の災害活動を支援する車両で、最高でビルの6階相当の高さから照らすことができ、50m先で新聞が読めるほどの明るさを届けることができます。

台風や地震などの災害支援で活躍しています。

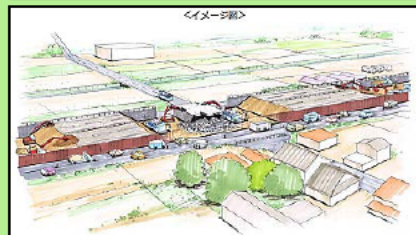


高所から広範囲を照らすことができるため道路利用者や工事作業員の支障とならない離れた位置からでも、これだけの明るさを確保できます。

照明車20mを活用することによってこんな効果が・・・

- ①道路利用者が遠方から工事に気づくことができ、早めの対応(迂回や減速など)が可能。
- ②高い位置から照らすことができ、広範囲にわたる視認性を確保。
- ③昨年度も同様に年末年始集中工事にて活用した結果、地元の警察や自治体から好評価。

国道41号を横断するトンネル(函渠)を取り壊して車道の高さを下げることにより6車線化への拡幅整備が可能に！！



国道41号名濃バイパス6車線化拡幅事業とは・・・

愛知県小牧市村中～犬山市五郎丸間(延長7.0km)



慢性的な交通渋滞

6車線化へ拡幅整備

- ☆交通渋滞の緩和
- ☆物資輸送の速達性向上

今回の集中工事は、横内西交差点～新宮2丁目交差点間(約1.1km)において、平日よりも大型車等の交通量が少なく、沿線企業への影響が少ないこの期間に実施。

